



令和6年度 第2回さつき学級



「うそ電話詐欺防止について」

7月8日(月)弥富交流促進センターで、第2回目のさつき学級を開催し、24名の参加がありました。今回は、講師に萩警察署 弥富駐在所所長 繁田京祐様をお招きして、「うそ電話詐欺防止について」のお話を聞きました。

はじめに、うそ電話詐欺被害の発生状況についてお話をされました。山口県内の詐欺被害件数(令和6年5月末)は、39件、被害総額は1億5,506万円で、萩市内では1件、被害総額は約186万円だそうです。山口県内の手口別被害状況を見ると、架空料金請求詐欺被害(未払いの料金がある等、架空の事実を口実とし、金銭等をだましとる手口)が全体の4割を占め、年代別に見ると高齢者被害が39件中18件、男女別で見ると男性より女性の方が多いそうです。最近ではSNS型投資詐欺(SNSを通じて、暗号資産や株に投資すれば利益が得られるものと誤信させ、金銭をだまし取るもの。)やSNS型ロマンス詐欺(SNSを通じて、恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、投資金名目で金銭をだまし取るもの。)など、新たな詐欺被害が県内でも急増しているので気をつけてくださいとお話をされ、皆さんも熱心に聞かれていました。また、「架空料金請求詐欺・名義貸し」の寸劇や、「キャッシュカード差し替え詐欺」「架空請求詐欺」の啓発用動画視聴もあり、とても分かりやすく教えていただきました。

最後に、山口県内の死亡事故発生状況についてお話をされ、7月7日現在で21件発生しているということで、「危機意識を持って運転しましょう。」と締めくくられました。皆さんも最後まで真剣に聞かれていました。

「お話がとても聞きやすかった。」などの声も聞かれ、とても充実した講座となりました。

～被害に遭わないためのポイント～

- ・『保険』の話や『返金される』は詐欺犯人の決まり文句！
- ・身に覚えのない請求は無視する！
- ・『還付金がある』『払い戻しがある』『ATMで手続き』などの電話は詐欺！
- ・警察官や金融機関職員が訪問して、通帳やキャッシュカードを回収することは絶対にない！

